

令和元年度の森林環境譲与税の用途について

高知県梶原町

1 森林環境譲与税の活用効果

(1) 森林情報の高度化

・ 未来の森林づくりにつながる多様性の高い森林環境を創るため、多様な森林再生プロジェクトを進行させる方針である。航空レーザによる梶原町全域23,645haの地形解析、梶原町民有林全域18,071haの森林資源量の解析を行い、森林情報の高度化を図り、今後の森林整備の促進に活かすとともに、森林再生プロジェクトの基礎データを得た。

(2) 木質バイオマスの利用推進

・ 梶原ペレットの利用をPRするため、地域活力センター「ゆすはら・夢・未来館」1Fの談話コーナーにペレットストーブを設置した。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入

単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	20,569
運用益	0
計	20,569

(2) 歳出（使途内訳）

単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R1 森林環境譲与税	他の財源		
森林資源解析業務	33,712	16,856	16,856	森林情報を高度化させるため、航空レーザ計測測量データの地形解析・森林資源量の解析を実施	地形解析：梶原町全域（23,645ha） 森林資源量解析：梶原町民有林全域（18,071ha）
ペレットストーブ設置事業	990	990		ペレットストーブを設置し、梶原ペレットの利用をPR	ペレットストーブ1基設置
森林環境譲与税基金積立金	2,723	2,723		今後拡大が想定される私有林の森林整備への補助に備えた積立	
計	37,425	20,569	16,856		